

令和最初の 非行防止展

S.少年よN.ネットの利用はS.慎重に



今年もエルパスペースをお借りしました

補導員だより

第62号
令和2年3月
福井市補導員連絡協議会
編集・発行
総務広報部会



たくさんの方がクイズラリーに参加してくれました

令和元年12月1日、ラブリートパートナーエ
ルパにおいて非行防止展を開催し、SNS等
に関連した非行・被害防止についての啓発パ
ネル展やクイズを実施しました。
多くの家族連れや小・中学生などが訪れ、
クイズにチャレンジし、SNSの正しい利用
方法や、家庭でのルール作りについて考える
機会となりました。



家族連れもたくさん来てくれました



社北ジュニアリーダーも手伝いに来てくれました

自信を持って
愛の声かけ

非行防止展を開催して

今回初めてこの非行防止展に参加
させていただきました。SNSに関
しては、以前から便利さと同時に
「危険性」が指摘されてきましたが、
特にここ2・3年の間に神奈川県
間市での大量殺人事件をはじめとす
る数多くの凶悪事件発生には、本当
に心を痛めております。
そういう状況の中でのこの非行防
止展の開催は、大変タイムリーであ
り、また、年々重要性が高まってき
ています。
当日は、スタッフの方々の熱心な
呼びかけもあり、とてもたくさん
の中高生、そして家族の皆様が会
場を訪れ、クイズを楽しみながらS
NS等のパネルに目を向けていた
きました。
今後、さらにこういう機会を増や
し、SNSの怖さをより多くの子
供達に正しく伝えていく必要がある
と感じました。

(上文殊地区 竹川 雅裕)

～活動報告～

タペストリーを作成しました！



12月1日から、改正道路交通法の施行により、『ながら運転』が厳罰化されています。
自転車でも、スマホを操作・注視する『ながら運転』は絶対にしないでください。

ご存じですか？ 決済アプリ

「今、お金がないけど、欲しい物がある…」
そんな便利な後払いもできる決済アプリがあるのをご存じですか？
決済アプリの中には、

- ・利用できる年齢に制限がないもの
- ・利用限度額の設定がないもの

もあり、
子どもたちが簡単に多額の後払いをしてしまう危険性があります。
保護者の皆さん！「突然、我が家に高額な請求が来た」ということも起こり得るかも…

アプリのインストールには、保護者の承認が必要となるように設定しましょう！

各地区からの補導活動報告記

日新地区です

日新地区は、福井市の北西部に位置し、
底喰川が東西に流れており、田園地域もあ
る閑静な住宅街です。地区内及び周辺には、
日新小学校をはじめとする教育施設があり
ますが、ゲームセンターなどの娯楽施設は
無い地域です。
毎月の巡回は、公園を中心に周辺の施設
などを回っています。近年、声掛け補導や
注意喚起をしなければならぬ児童・生徒
は見当たらず、不審者情報も見聞きしな
い状況です。また、事件・事故防止のため、
日頃から児童・生徒の下课時間や地区行事
等に合わせた見回りも実施しています。
今後も、小中学校PTAや地域と一体と
なって巡回を行い、平穏な状況が続くよう、
活動していきたいと思っております。

(金谷 邦央)

視察研修

児童心理療育施設

桜学館



令和元年10月9日、児童心理療育施設桜学館を見学し、館長から施設の概要と入所する子どもの特徴やその支援方法などのお話を伺いました。

桜学館では、「マンツーマン」での心理理解」を基本方針とし、充実した体制や教育プログラムのもと、子どもたちへの手厚い支援が行われていました。

視察研修に参加して

令和元年10月9日、岐阜県関市の桜学館（児童心理療育施設）に視察研修に行ってきた。

児童心理療育施設とは虐待やいじめなどの問題を持つ子供を一時的に預かり治療を行う施設です。

私は精神科で看護師をしています。が、虐待ケースなどで入院を余儀なくされる子供も見られます。しかし病院では色々な患者様がおられ、思春期の子供のニーズに沿った対応の難しさを感じています。

今回視察した児童心理療育施設では生活、医療、心理、教育の協働によりそれぞれの子供のニーズに沿った関わりを持ち、多職種による教育支援を行っており素晴らしいと感じました。

福井県はもとより北陸三県には児童心理療育施設はないとのこと、できるだけ早急に開設されることが望まれます。

（中藤島地区 山田 裕一）



合同補導研修



令和元年8月31日に、16時から18時まで、18時から20時までの2部に分かれ、福井駅周辺で合同補導研修を開催しました。

普段とは異なる班編成で、子どもたちへの声のかけ方を学び合ったほか、子どもたちの出入りが予想される飲食店等の把握を行いました。また、事例を交えて情報交換も行いました。

（アンケートより）

- ・日頃は小中学生が多く、今日回った所は女子高生が多かったため、声かけも女子高生に合わせての会話となり、勉強になりました。
- ・いろいろな地区の人と一緒に回って、皆さんが全員子どもたちに声かけできたので合同補導研修としては◎ですかね。充実していました。
- ・カラオケから出て来た高校生に声をかけたり「ダー」。鯖江方面より来たなど、すこく上手に色々な事を聞き出すテクニックがすばらしかったです。
- ・声かけをしても無反応で、足を組んだままの子どももいて、将来が心配になりました。
- ・いろいろな地域の補導員の皆さんの声のかけ方、普段の補導活動、また、福井市外での公衆トイレで遭遇した出来事などもお聞きできて良かったです。

おめでとうございます!

令和元年11月9日、青少年健全育成福井県民大会が大野市において開催され、当会の補導員4名が「優良な青少年愛護センター補導員に対する知事感謝状」を受領されました。

【受領された皆さん】※敬称略

- 西村 美恵子（センター）
- 南 廣子（啓蒙地区）
- 渡辺 速美（社西地区）
- 金谷 邦央（日新地区）



知事感謝状の受領者（写真は西村氏）

補導員誌より

- ◆小学生の男女が公衆トイレの屋根の上に乗っていたので、注意した。
- ◆小学生が近くのスパーから「タダだからいいじゃん」と段ボールを取ってきて、秘密基地を作っていたので声をかけました。
- ◆小学生の男児6名が、公園で石を投げていたので指導した。
- ◆ゲームコーナーで小学生が保護者同伴で遊んでいたため、保護者に福井市のルールをゆんわりと伝えました。
- ◆池の柵を越えてザリガニとりをしている子がいたので、柵を越えてはいけないことを注意し、学校にも指導を依頼。
- ◆カラオケ店で中学生と高校生がダンスをしていたので声かけ。ビックリした様子で「カラオケはダメなことでは知っているが、ダンスはOK」との返答。学校により校則が違うのか、ダメだとわかっていたのかは確認できず、この場合の声かけが難しいと感じた。
- ◆カラオケボックスに入ろうとレジにいた男子高校生や、プリクラコーナーにたむろしていた高校生に声かけしたところ、素直にに応じてくれ退室した。しかしながら日常的に利用していることがうかがえ、風紀の乱れが目についた。

編集後記

本年度は令和と年号も変わり、平和な時代になってほしいと願って迎えた方も多かったのではないだろうか。しかしながら青少年を取り巻く状況は、あまり好転していないように感じられます。補導員の皆様の活動にも「補導員だより」から時代の変化に変遷してきた歴史や青少年に対する補導員の思いを感じていただければと思います。

青少年が外で遊ぶことが少なくなってきた昨今ですが、声をかけてもらった一言が、元氣や希望となると信じて頑張りたいでしょう。

（総務広報部長 竹下 隆英）